

鹿児島大学病院

研修医 安田 俊介 2014年10月

こんにちは。鹿児島大学病院臨床研修医2年目、安田俊介と申します。初期臨床研修（地域医療）として10月の1ヶ月間、出水の地で研修させて頂きました。

最初の2週間は野田、高尾野各診療所で研修を行いました。両診療所ともに外来診療が主となり、多くのことを内村先生、西元寺先生より指導頂きました。これまで私自身は外来患者さんの予診をとることはありましたが、外来診療の経験はなく、緊張しながらの診療でした。野田診療所では患者さんへ問診をしながら、必要があれば自ら内視鏡検査、エコー検査を行います。私自身もカメラ、プローブを持って検査を行いました。十分な検査所見を得られないケースあり、反省する点が多かったのですが、良い経験となりました。

期間後半は出水総合医療センター院内での研修です。消化器内科、その中でも内視鏡検査を中心に行いました。崙山先生をはじめ消化器内科先生方には丁寧に指導頂きました。この1ヶ月で「内視鏡検査が出来る」レベルには及びませんが、内視鏡検査に対する苦手意識の払拭は出来てきた、という思いです。

今研修はプログラムが綿密な構成されていることが一つの特徴です。

院外研修では他にへき地医療として上場診療所における診療、出水保健センターで母子保健、乳幼児定期診断。北薩地域の他病院、開業医の先生方との勉強会と懇親会。院内研修では医療安全や地域連携について学ぶ機会がありました。これらの研修を通して、地域医療について多くの事を学ぶことが出来たと思います。

話は変わりますが、私は趣味でランニングをしているのですが、総合医療センターにはランナーの方が多く、11月30日の駅伝大会にお誘い頂きました。先日のツルマラソンでは不本意な結果であったことから汚名返上を期して練習に励む次第です。

今回の研修で学んだこと、経験したことを今後に生かせるよう、これからも精進する所存です。ありがとうございました、今後とも宜しくお願い申し上げます。